

**一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会**  
**プライマリ・ケア認定薬剤師研修会**  
**女性のライフステージにおける医療との関わり**  
**(2018年12月9日 日曜日)東京開催案内**

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第109分科会です。そして、プライマリ・ケア認定薬剤師制度は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構（GPC）から「特定領域」の認定制度としての認証（認証番号P02）を取得いたしております。】

女性ホルモンの1つであるエストロゲンは、女性のライフステージによって分泌量が大きく変化し、女性の体や心に影響を及ぼします。本研修会では、女性のそれぞれのライフステージにおける身体的、精神的な特徴と医療との関わりについて学習します。

（細則による必須領域：A, B, C, D, F, H）

| 要 項 |              |  |
|-----|--------------|--|
| 1   | 主 催          | 一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会  |
| 2   | 研修期間         | 平成30年12月9日(日)  |
| 3   | 研修会場         | <b>アーバンネット神田カンファレンス</b><br>〒101-0047 東京都千代田区内神田 3-6-2 アーバンネット神田ビル<br>案内図 <a href="http://kanda-c.jp/access.html">http://kanda-c.jp/access.html</a> |
| 4   | 認定単位         | 薬剤師:4単位(認定薬剤師単位)、医師:5単位(更新のための単位)  |
| 5   | 受講資格         | 薬剤師、医師、歯科医師、看護師、医療職、医療関係者  |
| 6   | 定員           | 90名(講義形式)  |
| 7   | 受講申込         | 締切り:平成30年11月20日(火)午後5時<br>ホームページからの申込による先着順となり、定員になり次第締切ります。<br>電話、ファクシミリ、メールによる申込は受け付けておりません。   |
| 8   | 受講振込         | 申込書を受理後、順次ご入金方法についてメールでご案内させていただきます。<br>※ 指定期日以内にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。   |
| 9   | 受講料<br>(2日間) | 11,000円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は9,000円<br>※ 受講料入金後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。   |

申込先: 日本プライマリ・ケア連合学会事務局担当係  
 プライマリ・ケア認定薬剤師研修会事務局  
 〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀 1-4-8 日栄ビル 703A 有限会社あゆみコーポレーション内  
 TEL:06-6449-7760 FAX:06-6441-2055 [jpca@a-youme.jp](mailto:jpca@a-youme.jp)

# プログラム

2018年12月9日(日曜日)

|             |  |
|-------------|--|
| 9:00～       | <b>受付</b>  |
| 9:20～10:50  | <b>①「さまざまな出産と産後の母体について」</b> 講師:宋美玄<br><p>出産には自然経膣分娩/機械分娩/帝王切開、自然陣痛/誘発・促進分娩などさまざまな種類がある。陣痛発来メカニズムなど解明されていない部分もあるが、分娩のフィジカルな面など分かって来ていることも多い。一方産後は女性の一生で最も劇的に環境とホルモンが変動し、身体的にダメージを受けている時期である。産婦の力になれるために、出産と産後の母体について解説を行う。<br/>(細則による必須領域: A,D,F)</p> |
| 11:00～12:30 | <b>②「女性のからだと妊娠、医師とコミュニケーションをするために」</b> 講師:太田寛<br><p>医療職として医師と共通の話をするための基礎知識として、女性の体(子宮と卵巣の周辺)の基本的な構造、位置、働きの再確認を行う。さらに、妊娠期の臨床で医師が何を気にして診察を行っているかについて解説する(予定日、出生前診断、骨盤位、帝王切開など)。<br/>(細則による必須領域: A,B,D,H)</p>  |
| 12:30～13:20 | <b>昼食(各自でご持参ください)</b>  |
| 13:20～14:50 | <b>③「育児と母乳と薬」</b> 講師:森戸やすみ<br><p>小児科外来での処方では一番、問題になるのはシロップやドライシロップ、OD錠などの剤形です。一番ではないものの、妊娠中はワクチンを打ってはいけない、授乳中の母は薬を飲んではいけないというデマについてもよく聞かれ問題になる。通常の教科書には載っていないような、俗説について検証する。<br/>(細則による必須領域: A,B,C,D)</p>  |
| 15:00～16:30 | <b>④「女性の一生とホルモン変化～各世代に起こりやすい疾患と治療について～」</b> 講師:江夏亜希子<br><p>女性の体は一生を通じて女性ホルモンの変化にさらされる。思春期・性成熟期・更年期・老年期というダイナミックな変化に加え、月経周期を有する年代では1ヶ月の中でも女性ホルモンの変動に合わせて大きく体調が変化する。各年代で起こりやすい変化と月経関連疾患、その治療について解説する。<br/>(細則による必須領域: A,C,D,F)</p>                     |

20分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

## 【講師紹介】

宋美玄(医師) 丸の内の森レディースクリニック院長

太田寛(医師) アルテミスウィメンズホスピタル産婦人科医長

森戸やすみ(医師) さくらが丘小児科クリニック院長

江夏亜希子(医師) 四季レディースクリニック院長